

Interview

「MID」含め 接着なくして成り得ない

視点

歯質への接着は、1952年にイギリスのBrent・Jにより、文献的に初めて象牙質への接着が紹介されたといわれ、1955年にアメリカのJ・Dent・Resにエナメル質への接着に関する論文が掲載されたのが始まりとされている。

そして、わが国で接着という言葉が歯科関係の雑誌で見られるようになったのは、1960年代に入ってからである。さらに、2002年に国際歯科連盟によって提唱された『MI (Minimal Intervention II) ミニマルインターベンション：最小限の侵襲の略』は、近年語尾にDentistryが付いた『MID』という用語として浸透し、外科系

医療の一分野である歯科医療において接着歯学の重要性が特に顕著となっている。今回は、日本歯科医学会の専門分科会の一つである日本接着歯学会の理事長を務める奈良陽一郎氏にお話を伺った。奈良氏は日本歯科大学生命歯学部接着歯科

接着歯学会の38年

「日本接着歯学会の歴史についてお聞かせください。」

日本接着歯学会は、1987年(昭和58年)に設立した日本接着歯学会研究が前身です。同年の第5回学術講演会(京都)の総会において、さらなる発展を目指し、日本接着歯学会としての一歩を踏み出しました。今年、学会設立38年目にあたり、現在、当会には「学術」「編集」「広報」「研修検討」「専門医認定

定」などを管掌する13の委員会があります。また、日本歯科医学会の専門分科会に加入しており、2016年4月に一般社団法人化を図り、国民のための接着歯科医療を見据えながら、所属会員はじめ歯科医療関係者の協働によって良質な歯科医療を行えるよう、学問と臨床の両面を重視し、事業を行っています。

「接着歯科治療専門医についてお聞かせください。」

接着歯科治療専門医とは、当会が認定している専門医です。2001年の1月27日に施行した接着歯科治療認定医がその前身で、時代に応じて、2020年10月4日の社員総会の承認を経て、「専門医制度」に移行・施行となりました。現在、199名の専門医と人材育成を図る41名の指導医が認定を受けております。専門医制度への移行に際しては、日本大学歯学部教授の宮崎真至前理事長が尽力され、私はそのバトンを引き継ぎました。現在は、専門医認定委員会の加藤正治理事、研修検討委員会の秋本尚武理事を中心に、施行しております。

当たり前のことを身に付ける機会を失う

「コロナ禍で大学の授業風景は変わりましたか。」

コロナ発生から昨年の前学期まではオンライン授業のみとなり、実習科目では教員が手技を画面上に映し、自宅にいる学生は、画面を見ながら練習する……という、これまでにない方法で授業がなされました。歯科医師の親をもつ学生は、身近にタービンやエンジンがあり、そのうえではない学生は高価なそれら機器を持ち合わせておらず、スキル体得の場と機会を失いました。そこで本学では、昨年9月から実習科目設定日のみ登校・集合型を再開

「プロジェクト・セン」について教えてください。

世の中に良い医療、クオリティの高い医療を提供することを目標とし、専門的な知識と技能を身に付け、日々自己研鑽に励む医療人の育成を図ることを見据えて立ち上げたプロジェクトです。「プロジェクト・セン」の「セン」には2つの意味が込められています。1つは、日本歯科専門医機構が医科系と歩調を合せな

「プロジェクト・セン」について教えてください。

世の中に良い医療、クオリティの高い医療を提供することを目標とし、専門的な知識と技能を身に付け、日々自己研鑽に励む医療人の育成を図ることを見据えて立ち上げたプロジェクトです。「プロジェクト・セン」の「セン」には2つの意味が込められています。1つは、日本歯科専門医機構が医科系と歩調を合せな

「プロジェクト・セン」について教えてください。

世の中に良い医療、クオリティの高い医療を提供することを目標とし、専門的な知識と技能を身に付け、日々自己研鑽に励む医療人の育成を図ることを見据えて立ち上げたプロジェクトです。「プロジェクト・セン」の「セン」には2つの意味が込められています。1つは、日本歯科専門医機構が医科系と歩調を合せな

「プロジェクト・セン」について教えてください。

世の中に良い医療、クオリティの高い医療を提供することを目標とし、専門的な知識と技能を身に付け、日々自己研鑽に励む医療人の育成を図ることを見据えて立ち上げたプロジェクトです。「プロジェクト・セン」の「セン」には2つの意味が込められています。1つは、日本歯科専門医機構が医科系と歩調を合せな

「プロジェクト・セン」について教えてください。

笑顔を支えながら、日本のみならず広く世界中の患者さんにとって「良質な接着歯科医療」を届けるか、また、未来を担う歯学生に望む歯科医師像を語る奈良陽一郎氏(協会撮影)



略歴

1980年日本歯科大学卒業、1984年同大学院修了。以後、同大学助手、講師、助教授を経て、2003年より同大学教授に就任。1984年同大学より歯学博士号を得る。学位論文名は「臼歯修復用コンポジットレジン繰り返し荷重下における線端強度」。2020年より一般社団法人日本接着歯学会理事長、現在に至る。

一般社団法人 日本接着歯学会 理事長
日本歯科大学 生命歯学部
接着歯科学講座 教授

奈良 陽一郎 氏
(なら・よういちろう)